



# 天草

市政だより

日本の宝島 “天草”の創造を目ざして！

平成23年

4.1

No.120



## 青い海と大小の島々を眼下に“遊覧飛行”

いま、天草の最高峰“倉岳(682m)”の中腹から飛び出すパラグライダーが人気です。3月5日には、同山の8号目付近にある出発地に愛好家が集結。カラフルな翼を広げ、青い海と大小の島々を眼下に遊覧飛行を楽しんでいました。

### 主な内容

- 国選定重要文化的景観「天草市崎津の漁村景観」… 2～5
- 「地域での支えあい」によるまちづくりを目ざして … 6～9
- 平成23年度の後期高齢者医療保険料について … 10～11
- 「天草Webの駅」に新機能が追加！ … 12～13
- 大多尾小学校が閉校 ……………… 14
- 宝島のわだい ……………… 15～19
- みんなの広場など ……………… 20～23

# 国選定重要文化的景観

# 天草市崎津の漁村景観

文部科学大臣は2月7日、河浦町崎津地区の漁村景観を国の重要文化的景観に選定し、同日付けの官報で告示しました。今回の選定は、昨年11月19日に開かれた国の文化審議会からの答申を受けて行われたもの。県内においては、上益城郡山都町の「通潤用水と白糸台地の棚田景観」に次いで2番目の選定であり、漁村景観としては全国で初めて選ばれました。

今号では、国選定重要文化的景観「天草市崎津の漁村景観」の概要や、今後の計画などについてお知らせします。



▲空から見た崎津地区（点線内が選定区域）

## ■選定の概要

- 名称：「天草市崎津の漁村景観」
- 所在地・面積
  - 陸域：熊本県天草市河浦町大字崎津 …… 71.4ha
  - 海域：崎津漁港区域のうち、海域に係る部分 … 88.5ha
  - 合計 …… 159.9ha

## 重要文化的景観とは

重要文化的景観とは、文化財保護法に基づく国の文化財で、同法ではこの景観を「地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの」と規定しています。つまり、人々の生活や営みのほか、その土地の環境などによってつくられていて、我が国を代表する景観ということに

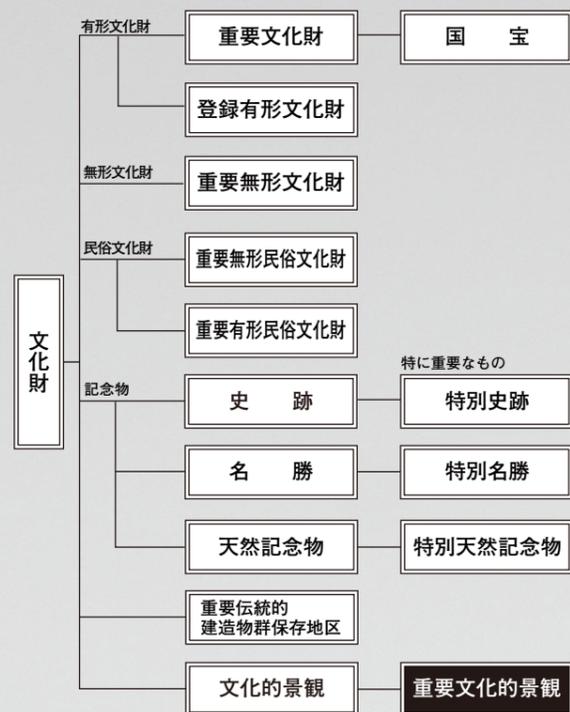
なります。

今回、「天草市崎津の漁村景観」もこの規定に基づき選定されたものです。

一方、市内における国指定文化財については、重要文化財として「祇園橋」（船之尾町）、名勝として「妙見浦」（天草町）、などがあり、最近では「棚底城跡」（倉岳町）が史跡に指定されています。

なお、同法に基づく文化財種類の体系については、左表をご覧ください。

## ◆文化財保護法に基づく文化財種類体系図



「崎津港燈台」付近から望む崎津地区

### 崎津の歴史

#### ◆崎津の港

羊角湾の北岸に位置する崎津は、古くは「佐志の津」とも呼ばれていました。永禄6（1563）年に、キリスト教の布教のために日本を訪れた、ポルトガル人宣教師ルイス・フロイスが著した「日本史」によると、同12（1569）年にアルメイダ修道士が河内浦（現在の河浦町）でキリスト教の布教を開始し、インドから来る船を迎えるため、Saxinoccu



▲文政6（1823）年に描かれた「天草嶋崎津港近郷海濱要図」（九州大学記録資料館所蔵）

#### ◆漁業の発展

崎津は、江戸時代になると漁業集落として発展します。これは、天草・島原の乱後、天草が幕府の直轄地である天領となり、漁業が定浦制度のもとで営まれたからです。定浦制度とは、荷子役といわれる水夫や船の調達などの役目を負うことで、その見返りとして漁業を営む権利が与えられるという制度です。崎津は万治2（1659）年に定浦の指定を受けたことが、漁村が成立する契機となり、荷子役を負った人々たちによって集落が形成されていきました。

（崎津）という港を確認したとあります。このことから、崎津は16世紀ごろから港の条件に適した地形であり、西洋にも知られていたことがわかります。また、江戸時代には外国船を監視するための遠見番所が設置され、不審船や漂着船の対応をしたほか、近世から近代にかけては、長崎を中心とした貿易や石炭搬出などの流通・往來の拠点として、天然の良港をいかした港湾都市の機能が形成されました。

### 崎津に残る独特の景観要素

## 「トウヤ」と「カケ」

崎津の西側に位置する下町・中町・船津地区は、湾内のわずかな平地に家屋が密集しています。このため、「トウヤ」と呼ばれる幅約90cmの小路が数軒ごとに通り、漁村の生活に密着した交流の場にもなっています。

また、海上には竹やシュロを利用した「カケ」と呼ばれる構造物が設けられており、漁船の停泊や魚干しなど、生活上の施設として利用されています。



▲家の海側に設置されている「カケ」

▶海まで続く細い小路「トウヤ」

## 「ゴールではなく、むしろスタート」

### インタビュー



富津地区振興会 増田哲也会長

先人たちが残してくれた崎津の景観のすばらしさを認めてもらい、たいへん喜んでます。私たちも、先人に感謝しながら、この財産を後世に引き継いでいかなければと、あらためて感じています。

一方で、地元の住民として思うことは、地区内の少子高齢化が進む中、「今回の選定をいかに地域の活性化につなげることができるか」ということです。

そこで、富津地区振興会では、NPO「さいのつ」と共同で文化の保存・継承や観光客の利用を目的に、市の補助事業やふるさと応援寄附金を利用して「カケ」を整備しました。また、住民レベルでは、訪れる人々に対して笑顔であいさつや声かけをするなど、気持ちの「おもてなし」を心がけるようにもしています。

私たち住民にとっては、重要文化的景観に選定されたことはゴールではなく、むしろスタートです。

これからも、崎津の景観をいかした地域づくりに取り組んでいきたいと思ひます。



▶整備した「カケ」

### 独特の文化的景観を形成していると高く評価

このように、「天草市崎津の漁村景観」は、貿易や石炭搬出など流通・往來の拠点として、また、豊かな漁業資源が集積する漁港としての機能を持つ集落が、「トウヤ」や「カケ」などの特徴的な生活上の施設を伴いながら成り立っており、このことが独特の文化的景観を形成していると高く評価されたものです。

### 今後の計画

現在、市では地元住民や関係団体と連携し、「崎津のブランドデザイン」の策定に取り組んでいます。これは、崎津の景観を守りいかしていくことで、地域振興を図る「崎津の将来構想」となるものです。そのためのワークショップを開催し、景観に配慮した地域あり方やあらたに整備が必要なものに関することのほか、観光客の受け入れ体制や案内ボランティアの充実などを協議し、参加者からは活発な意見が出されました。一方、崎津の景観と一体性をな



▲ワークショップの様子

している今富地区は、歴史や文化、社会構造など密接な関係にあり、特に潜伏キリシタン関係の史跡や風習は注目されていることから、選定区域の追加を目ざして保存調査・計画を作成しています。

このほか、「天草町大江地区」や「倉岳町棚底地区」においても、重要文化的景観の選定に向け保存調査を実施しています。

※「天草市崎津の漁村景観」に関する詳しいことは、本庁（別館）文化課世界遺産登録推進室 ☎1111 内線2536へお尋ねください。

# 「地域での支えあい」によるまちづくりを目ざして

市では、「天草市地域福祉計画」を策定し、地域における福祉活動の実践や基盤づくりが推進できるよう、市民・社会福祉協会・行政が連携を深め、すべての人が生涯にわたり、生きがいを感じながら暮らせるまちづくりに取り組んでいます。そこで今号では、その中で特に重要な「地域福祉」について考えていきます。

## そもそも「地域福祉」って何？

地域福祉とは、高齢者や障がい者、児童などを取り巻きさまざまな福祉課題に対して、従来どおり制度や施設などで対応していくことに加えて、これらの基盤として、制度や施設などの枠を超え対象者を限定しない、地域という視点に立った『地域での支えあい』を高めていくという考えです。

この地域での支えあいという考え方には、ふだんの支えあいとしての「地域見守りネットワーク」、いざというときの「災害時要援護者登録制度」、そして、いざというときの対応のための「自主防災組織」などがあります。市地域福祉計画では、これらの身近な暮らしの場でも支えあうという地域福祉を推進しており、「誰もが、安心・充実して健康に暮らせること」を目ざしています。

## なぜいま「地域福祉」福祉を取り巻く市の現状

### ●人口と世帯構成の現状

別表1は、市の人口や世帯数、高齢者数などを示したデータです。市の人口は毎年約1,500人のペースで減少する中、高齢化率（総人口に占める65歳以上の人の割合）は30%を超え、約3人に1人が高齢者という「超高齢社会」にあります。一方、世帯数にはあまり変動が見られないことから、核家族化が進行していることがわかります。

このような中、市内の独居高齢者（65歳以上のひとり暮らし世帯）は年々増加。平成22年には7,467世帯にのぼり、これは市内の全世帯の約2割を占める数値です。また、この数値に同年における高齢者2人世帯（65歳以上の2人暮らし世帯）の数4,790世帯をあわせると12,257世帯になり、市内の約3世帯に1世帯は独居高齢者世帯と高齢者2人世帯であるということになります。

別表1 ◆人口と世帯構成の現状

区分	平成20年	平成21年	平成22年
人口(人)	95,599	94,525	93,098
世帯数(世帯)	37,944	38,005	37,892
高齢者数(人)	30,115	30,216	30,099
高齢化率(%)	31.5	32.0	32.3
独居高齢者(人・世帯)	7,140	7,275	7,467
高齢者2人世帯(世帯)	4,874	4,753	4,790

※各年3月末日現在

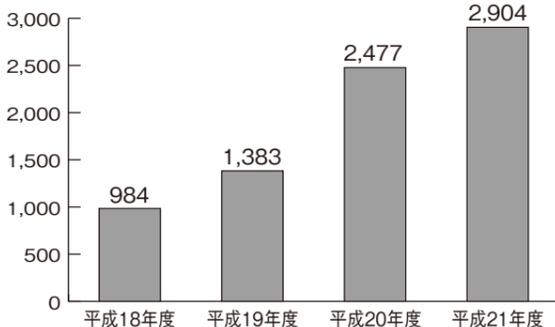
### ●増え続ける相談数

別表2・3は、地域包括支援センターへの相談件数と子育て支援課等に寄せられた児童相談などのデータで、ほとんどの項目で増加傾向にあることがわかります。これは、同センターなどにおける相談体制の充実が図られた結果である一方、日々さまざまな悩みを抱えながらも、周囲には相談できないでいる人たちが多くいるとも考えられます。

別表3 ◆児童相談などの相談件数

区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
児童相談	658	687	789	1,147
児童虐待	11	15	26	39
女性相談	496	386	199	178
DV相談	18	15	16	16
孤独死	—	26	17	24

別表2 ◆地域包括支援センターへの相談件数



## だからいま「地域福祉」といつ考えよう

このように、少子高齢化、核家族化が急速に進み、さらには個人の価値観や生活スタイルが多様化してきていることもあり、地域に住んでいる人どうしがともに支えあい、助けあうというつながりが希薄になっていくと考えられます。しかし、このことが孤独死や虐待、ひきこもりなどあらたな社会問題が生じる原因にもなっています。

このため、いまこそお互いに「支えあい、助けあう」という関係を築いていくこと、つまり「地域福祉」という考え方が重要になってくるのです。



### ◆イメージ図

**地域見守りネットワーク**  
支援を必要とする高齢者などのために、これら支援者の同意を得たうえで、地域住民が連携して「声かけ」や「安否確認」などを行うしくみ。

**いざというときの備え**  
**②災害時要援護者登録制度**

**災害時要援護者登録制度**  
支援を必要とする高齢者など（要援護者）の情報をあらかじめ登録し、災害時における救助活動や安否確認に役立つ制度。

**ふだんの支えあい**  
**①地域見守りネットワーク**

**基盤としての地域福祉**  
**地域の力**

**いざというときの対応**  
**③自主防災組織**

**自主防災組織**  
消防団とは別に、地域の住民が自主的に連携して防災活動を行うために組織された任意の団体。

# （ 広げよう地域福祉 ネットワークの輪 ）

## みんなで“目配り・心配り・気配り”を



本渡北民生委員児童委員協議会  
会長 堀田倫子さん

本渡北地区では、行政区長や民生委員・児童委員などが連携して“命のバトン事業”に取り組んでいます。これは、高齢者などがかかりつけ医や緊急連絡先などの情報を記載し、専用の筒に入れて自宅の冷蔵庫に保管してもらうもの。多くの対象者に喜んで参加していただき、実際に具合が悪くなった人を迅速に医師へバトンタッチできた例もあります。今後も、行政区長や民生委員・児童委員、老人会などの皆さんを中心に連携しながら、多くの住民が“目配り・心配り・気配り”のできる地域になるようにがんばります。

## 距離を超えて住民どうしのつながりを守る



天草町 福連木・中区  
区長 瀬川一孝さん

地区の班長や関係者などと協力して、事前に承諾を得た高齢者世帯などを訪問する、“見守り活動”に取り組んでいます。対象者の家には専用のカレンダーを備え付け、面会をした支援者がチェックするしくみです。中区は、高齢化率が約43%、山間部には高齢者世帯が点在し、近所づきあいそのものが見込めないケースもあるなど、厳しい環境下にあります。それでも、この取り組みを続けていくことで、地区住民どうしのつながりを守り続けていきたいと思っています。

地域住民や地域の各種団体、協力事業所などが日常生活または業務中に「高齢者などの異変」や「生活上の困りごと」などに気づいた場合に、近くの市社会福祉協議会に連絡し、同協議会が「対象者の現状把握」と「即時対応」を行い、必要に応じて制度の周知やサービスなどの提供を行うものです。なお、対象者などの安全を最優先するため、緊急の対応が必要と判断した場合は、同協議会ではなく、直接警察署または消防署へ連絡してください。

## ネットワークのしくみ

ひとり暮らしの高齢者や障がい者などの支援を必要とする人（見守り対象者（要援護者））たちが、住みなれた地域で安心して暮らし続けられるように、声かけや見守りなどの支援を行うような地域を作っていく事業です。

## 天草市地域福祉ネットワーク事業とは

### こんな変化に気づいたら…

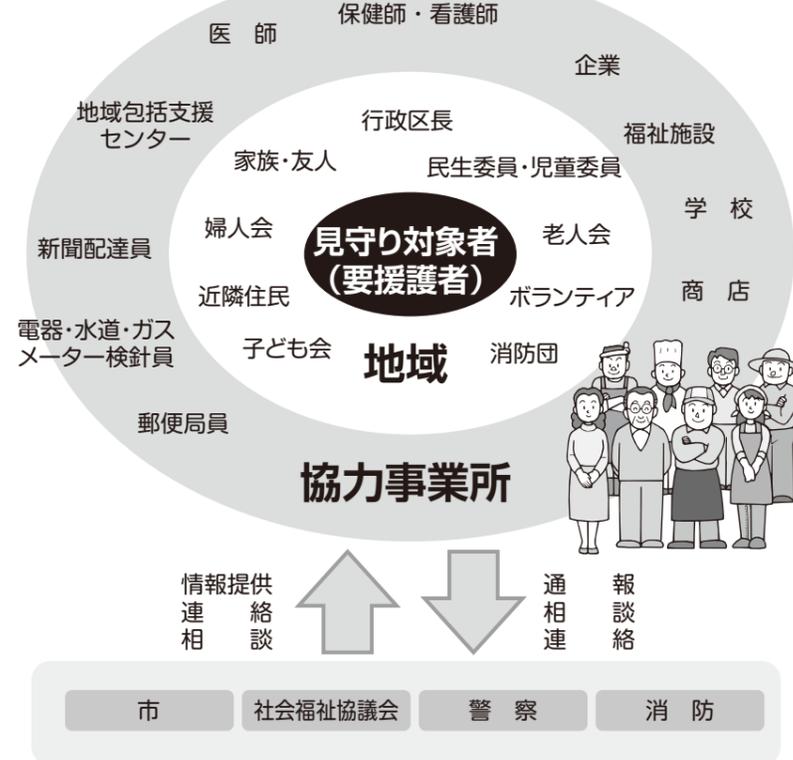
- ・新聞や郵便物がたまっている
- ・夜（昼）になっても電気がつかない（ついたまま）
- ・いつもの時間に見かけない

### 天草市社会福祉協議会本所

- ☎2552
- 本渡支所 ☎240100
  - 牛深支所 ☎722904
  - 有明支所 ☎530110
  - 御所浦支所 ☎673782
  - 倉岳支所 ☎643788
  - 栖本支所 ☎663367
  - 新和支所 ☎463770
  - 五和支所 ☎321076
  - 天草支所 ☎420678
  - 河浦支所 ☎761401

へご連絡ください。

### ◆イメージ図



地域福祉の推進については、その地域に生活する人たちの力が不可欠です。市民の皆さんは10年後、20年後の自分を想像し、どのような地域であったら安心して生活できるのかを考えていただき、そのためにはどのような取り組みや制度があればいいかなどを、再度考えていただき

## 地域福祉の発展に向けて

## 住民の生活が安心・安全なものとなるように協力



郵便事業(株)本渡支店  
担当課長 石田貢一さん

今回、私ども郵便事業(株)本渡支店は、「天草市地域福祉ネットワーク事業」に賛同し、協定を締結いたしました。この事業は、私ども郵便事業の理念「地域に根ざしたあまねく公平なサービスを提供する」と趣旨を同じくしています。私たちも、天草市、天草市社会福祉協議会と一つになり、皆様の生活が安心・安全なものとなるように協力してまいります。皆様のご理解とあたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

### 市内23の事業所と協定を締結

2月25日、天草市民センター展示ホールで「天草市地域福祉ネットワーク事業協力事業所等協定締結式」が行われ、市と市社会福祉協議会、市内23の事業所との間で、高齢者等の見守り活動などに関して協定が結ばれました。各事業所においては、これまでも独自に見守り活動に取り組むなど、地域福祉の推進に尽力。今後は、よりいっそうの支援が期待されます。



▲協定締結式の様子

※「地域福祉」に関する詳しいことは、本庁・社会福祉課地域福祉係 ☎11111 内線1405へお尋ねください。

たいと思います。あわせて、そのような地域をつくるために市民の皆さんの「地域福祉」へのさらなるご理解とご協力をお願いします。

## 保険料の納付方法

保険料は、年金からの差し引き（特別徴収）または納付書や口座振替、納税組合を通じた納付（普通徴収）となります。

また、現在、年金受給額が年額18万円以上の人で、平成22年4月2日以降に75歳の誕生日を迎えた人は、4月から下表のとおり特別徴収となる場合がありますのでご注意ください。

なお、年金からの差し引きが原則ですが、申し出により口座振替へ変更することができます。口座振替を希望する人は、金融機関での手続き後に渡される『口座振替開始依頼書の控え』、『後期高齢者医療被保険者証』と『印かん』を持参し、市役所本庁・保険年金課または牛深支所・市民福祉課、その他の支所・総務市民課で手続きを行ってください。すでに『保険料納付方法変更申出書』を提出している人は、再度手続きをする必要はありません。

### ◆保険料の徴収開始月

75歳の誕生日	普通徴収の月	特別徴収の開始月
平成22年 4月2日～同10月1日	該当なし	4月から
平成22年10月2日～同12月1日		6月から
平成22年12月2日～同23年2月1日	6月	8月から
平成23年 2月2日～同3月1日	6・7・8・9月	10月から
平成23年 3月2日～同7月1日	7・8・9月	10月から

## 保険料額の通知

### ■特別徴収の場合

4月から6月までに特別徴収が開始となる人には4月中旬に、8月に特別徴収が開始となる人には7月中旬に「特別徴収開始通知書」を送付します。

また、2月に特別徴収されていた人は、平成22年7月に送付した「保険料額通知書」で4月から8月までの特別徴収金額をお知らせしていますので、今回は通知しません。

なお、10月以降の特別徴収金額については、7月中旬に通知します。

### ■普通徴収の場合

平成22年度の保険料の支払いが特別徴収されていない人や、平成22年12月2日から同23年3月1日までに75歳の誕生日を迎えた人などには、「暫定賦課保険料額の通知」を6月中旬に送付します。これは、平成22年度の保険料額をもとに暫定的に賦課した額です。1回分の納付通知ですので、納め忘れのないようご注意ください。

なお、平成23年度の保険料の決定につきましては、7月中旬に通知します。

### ●暫定保険料の算出方法

$$\text{暫定保険料} = \text{平成22年度年間保険料額} \times \frac{1 \text{ (暫定納期数)}}{9 \text{ (普通徴収の全納期数)}}$$



### 所得の変更により保険料や一部負担金に変更となる場合があります

過去にさかのぼって所得が変更になる場合は、過去の保険料や一部負担金の額も変わりますので、差額分の納付書が届く場合があります。

※詳しいことは、本庁・保険年金課医療係 ☎1111内線1135または熊本県後期高齢者医療広域連合 ☎096(368)6511へお尋ねください。

## 平成23年度の 後期高齢者医療保険料について



「後期高齢者医療制度」は、75歳以上（一定の障がいがある人は65歳以上）のすべての人を対象とする医療保険制度です（社会保険加入者などに扶養されている人も同制度の被保険者となります）。

## 保険料の計算方法

被保険者1人当たりの保険料（年額）は、被保険者が均等に負担する「均等割額」と被保険者の所得に応じた「所得割額」を合計した額（下の保険料の計算方法を参照）になります。

なお、均等割額と所得割率は県内均一で、2年ごとに見直しがあります。平成22・23年度の保険料率は、均等割額が47,000円、所得割率が9.03%です。

### 保険料(1人当たり)の計算方法

均等割額 47,000円	+	所得割額 * (課税所得) × 9.03% (所得割率)	=	保険料 上限50万円 (年額)
-----------------	---	---------------------------------	---	--------------------

※課税所得…前年の所得(年金や個人事業などの収入から、その収入を得るために必要とした経費[年金の場合は年金所得控除]を差し引いた額)から、基礎控除33万円を差し引いた額。

## 保険料の軽減

所得が低い人や社会保険の被扶養者であった人の保険料は、平成23年度も継続して軽減されます。

### ①均等割額の軽減

世帯主とその世帯の被保険者の総所得金額などが一定以下の場合、保険料の均等割額が下表の基準により軽減されます。

軽減割合	世帯（世帯主と被保険者）の総所得金額など
9割	33万円を超えない世帯で、被保険者全員が年金収入80万円以下(その他各種所得がない場合)
8.5割	33万円を超えない世帯
5割	33万円+24.5万円×被保険者数(被保険者である世帯主を除く)を超えない世帯
2割	33万円+35万円×被保険者数を超えない世帯

### ②所得割額の軽減

所得割額算定にかかる基礎控除(33万円)後の総所得金額などが58万円を超えない人は、所得割額を一律5割軽減します。

### ③社会保険の被扶養者軽減

後期高齢者医療制度に加入する前日に社会保険の被扶養者になっている人は、資格取得日の属する月から2年間、保険料の所得割額の負担はなく、均等割額の5割のみの負担になります。なお、特別措置として、当分の間は保険料の均等割額が9割軽減され、所得割額はかかりません。

### ●申告が必要な場合

後期高齢者医療においては、本人または同じ世帯の人で、収入のない場合や障害年金・遺族年金受給者の場合も申告が必要です。

申告がないと、低所得世帯であっても、保険料が軽減されなかったり、食事代の減免や高額療養費の限度額で本来の区分の適用ができないといった不利益が生じる場合があります。

## 新機能のご紹介

### ネットショップ あまくさモール

会員の皆さんが「天草Webの駅」上に自分の店を出し、商品の紹介や販売ができる機能です。

#### 出店は無料

一般のネットショップでは出店費用がかかりますが、「天草Webの駅」会員は無料で出店できます。

#### 販売地域が、天草から全国へ

ホームページを持つことで、全国へ向けた情報の発信や、商品の販売ができます。

### ネットショップ 出店者募集!!

ネットショップの新規オープンに伴い、出店者を募集します。出店の応募や詳しい内容については、ネットショップ出店説明会で説明します。なお、説明会の開催日時については「天草Webの駅」でお知らせします。



### 宿泊予約システム

旅館やホテルなどの宿泊予約ができる機能です。宿泊関連施設の人は、ぜひご参加ください。宿泊関連施設の人向けに随時説明会を開催する予定です。詳しくは「天草Webの駅」をご覧ください。



### あまくさ元気ネット

保健や医療関係などの「元気（健康）」に関するご質問やお悩みの投稿、そのご質問に対する回答や意見交換ができる場です。

皆さんから寄せられた情報は、誰もが自由に閲覧することができます。同時に健診や健康関連のイベント情報なども発信します。



### あまくさライフ

#### 田舎暮らし応援

天草で田舎暮らしを楽しみたい人や、Uターン・セミリタイアなど天草暮らしを検討している人向けのサービスです。天草地域の病院・学校や金融機関などの生活施設の情報のほか、イベントなどの情報が地図や一覧表示で確認できます。

#### 空き家情報の閲覧

天草の空き家情報を地図や一覧で確認できます。



「天草Webの駅」に関する詳しいことは、本庁・情報政策課情報化推進係  
☎11111内線1351へお尋ねください。

# 天草Webの駅 みんなで作る天草の情報ポータルサイト **新機能が追加!**

〔ホームページアドレス〕

## http://amakusa-web.jp/

個人や団体などのホームページが作れたり、情報発信ができたりする機能などを持つ『天草Webの駅』に、新機能が追加されました。

情報を提供・収集・共有できる機能をじょうずに活用することで、地域活動の活性化や、業種を超えた新たな特産品の開発などの新しいサービスを創出するための道具にもなります。

この事業は、「地域ICT利活用モデル構築事業」として、総務省の支援を受けて取り組んでいます。

今号では、『天草Webの駅』で利用できる機能や入会方法、新たに追加された機能などについて紹介します。



## 「天草 Web の駅」で利用できる機能

「天草Webの駅」で、パソコンや携帯電話から利用できる機能は次の2つです。ただし、携帯電話で利用する場合は、表示が一部限定されます。また、「天草Webの駅」の機能を利用するには、会員登録が必要です。なお、市内に住んでいる人は利用料が無料となります。皆さん、ぜひご登録ください。

### 1 ホームページ作成機能

ホームページを作れる機能で、詳しい知識がない人でも作成でき、「天草 Web の駅」から情報発信ができます。例えば、インターネットを通じて、各地区振興会の催しをはじめ、歴史・文化、特産品などの情報を全世界に向けて発信でき、ネット上で物産品の販売も可能となります。

### 2 コミュニティ機能 (SNS) ※SNS…対話型のインターネット上のサービス。

個人会員どうしでグループをつくったり、団体で独自にID・パスワードを発行したメンバーでの情報の共有ができます。これは、インターネットを利用しますが、グループのメンバーにしか見れないページで情報交換を行う機能です。友だちや趣味の仲間、子育てや地域での情報交換などのコミュニケーションがとれるほか、企業や団体における業務連絡やスケジュール管理などにも利用することができます。また、ホームページ作成機能で作った団体ホームページをグループのメンバーで管理できるようになり、みんなでホームページの情報を更新していくことが可能となります。

### 入会方法

インターネットを利用できる携帯電話やパソコンを持っている人で、入会を希望する人は、上のホームページアドレスまたは右のQRコードから「天草Webの駅」にアクセスし、新規の会員登録をしてください。



QRコード

# わだいの



▲「人生は一度きり。ぜひ一歩足を踏み出して」と話す辻さん



▶ 寸劇のようす

## 2011天草つのでフェスタ

### みんなで手をつなぎ 心豊かにまちづくり

2月20日、「2011天草つのでフェスタ」が天草町の天草勤労者体育館を主会場に開かれ、約250人が参加しました。催しでは、地元の小学生や団体による、勇壮な太鼓の演奏や福連木の子守唄が披露されたほか、天草中学校2年の平山亜理沙さんが人権に関する作文を発表。また、認知症を考える寸劇やパネルディスカッションも行われました。その後、タレントの辻イト子さんを招いて「農家の嫁の大転換！輝くチャンスを逃さないで」と題して記念講演を実施。元気で明るい辻さんの話に、会場中が笑いに包まれていました。

このほか、人権や男女共同参画に関する絵画やパネル展示、天草産の食材を使った物産市なども開かれ、多くの来場者でにぎわいました。

## 市まちづくり大賞

### 大浦地区振興会がまちづくり大賞を受賞！

有明町の大浦地区振興会が取り組む“ミカン（不知火）の木オーナー制度”が2月15日、「天草市まちづくり大賞」を受賞しました。この賞は、市まちづくり協議会連絡会が、地域をより良くしようとがんばる地区振興会などを表彰することで、地域づくりへの情熱や思いを高めることなどを目的に、昨年10月に設けられたもの。2月27日には、栖本町の栖本福祉会館で表彰式が行われ、同連絡会の中川竹治会長から同地区振興会の津崎勝志会長へ表彰状が贈られました。

津崎会長は、「今回の受賞は園主だけでなく、事業に協力していただいたすべての皆さんの取り組みが評価されたもの。これからの地域づくりの励みになります」と喜びを語っていました。

なお、同賞のほか、御領まちづくり振興会（五和町）が奨励賞、城河原地域づくり振興会（同町）が特別賞を受賞しました。



▲中川会長(右)から表彰を受ける津崎会長(左)



▲ミカンの収穫を楽しむオーナーたち

# たくさんの思い出をありがとう

## ～大多尾小学校が閉校～



新和町の「大多尾小学校」が、新和小学校との統合に伴い3月31日に閉校しました。明治8年に開校し135年の歴史に幕を閉じた大多尾小学校。これまでに3,880人が学び舎を巣立ちました。

2月27日には同校で閉校式があり、児童や卒業生、関係者などが出席。式典では、6年の大田夏菜さんが児童を代表してあいさつしたほか、出席者全員で校歌を斉唱。その後、校旗の収納が行われました。

また、閉校記念セレモニーを同実行委員会主催で開催。「映像で綴る大多尾小の歴史」と題してスライドショーが行われたほか、同校出身でバルセロナ五輪・陸上男子10,000m代表の浦田春生さん（中央大学駅伝部監督）らによるスピーチ、楊貴妃太鼓や虫追い踊りの披露も行われ、参加者は思い出のひとときを過ごしていました。



▲校旗の収納



▲校歌を斉唱する出席者

▶ 母校の思い出を語る浦田さん



▲軽快なばちさばきを披露した楊貴妃太鼓



▲勇壮な虫追い踊り

## 大多尾小学校の歴史

- 明治8 小宮地小学校大多尾分校として設立(武部尹孟初代校長宅) 移転
- 10 公立大多尾小学校と改称。大多尾字棚田に新築した校舎に移転
- 20 大多尾小学校簡易科教場と改称
- 25 大多尾尋常小学校と改称 校舎を新築
- 28 大多尾尋常高等小学校と改称
- 40 大多尾尋常小学校と改称
- 42 大多尾尋常小学校と改称
- 44 増築校舎、大多尾3506番地に移転、旧校舎も改築
- 大正15 大多尾尋常高等小学校と改称
- 昭和10 新校舎落成
- 16 大多尾国民学校と改称
- 22 大多尾小学校と改称
- 29 新和村立大多尾小学校と改称
- 36 新和町立大多尾小学校と改称
- 39 鉄骨2階建てを新築
- 49 校歌制定
- 50 創立100周年記念式典
- 63 少年消防クラブが全国表彰を受ける
- 平成元 体育館落成
- 18 天草市立大多尾小学校と改称

# わだいの



化石のレプリカづくり



化石採集体験

## 大阪アウトドアフェスティバル2011 御所浦

### 「日本の宝島“天草”」をPR!

国内外の100を超える企業や団体が出展する日本最大級のアウトドア総合展示会「大阪アウトドアフェスティバル2011」が3月12・13日、大阪市のインテックス大阪で開かれ、両日あわせて約39,000人が来場しにぎわいを見せる中、市の職員や学芸員、御所浦アイランドツーリズム推進協議会で構成した宣伝隊が、市のPR活動を行いました。

催しでは、宣伝隊が市の観光情報を提供したほか、御所浦町で実施している化石のレプリカづくりや化石採集などの体験コーナーを開催。来場者は、「天草に一度行ってみたい」「どう行けばいいのかわからない」などと話し大盛況でした。

## 栖本オリジナル米焼酎「栖本太鼓の響」販売中 栖本

### 好評につき再びお目見え!

栖本まちづくり協議会では、地元産のコシヒカリ(1等米とステビア草を肥料にして栽培した米をブレンド)を使用したオリジナル米焼酎「栖本太鼓の響」を、3月22日から本数限定で販売しています。これは同協議会が、昨年4月に発売し好評だったことを受け、再び企画したもので、今回は新たに原酒も200本限定で販売。現在、栖本町内の商店や酒店で販売しています。詳細は、同協議会事務局(栖本支所・総務市民課内) ☎03111へお尋ねください。



▲1,800mlが2,350円、720mlが1,500円(箱は別売り)、原酒720mlが3,500円(箱付き)

## 親子シイタケ駒うち体験 河浦

### 1年後のシイタケ収穫が楽しみだ!

2月27日、「第7回親子シイタケ駒うち体験」が板之河内森林公園で開かれ、親子など60人が参加しました。これは、同公園利用促進委員会が、シイタケの栽培方法や収穫の喜びを知ってもらおうと、毎年実施しているもの。参加者は、指導者からシイタケの生産方法などの説明を受けたあと、駒打ち作業を体験。用意されたクヌギの木に金づちを使っていねいに駒を打ち込んでいました。なお、駒打ちした木は同委員会で約1年間管理し、その後参加者に配布されます。



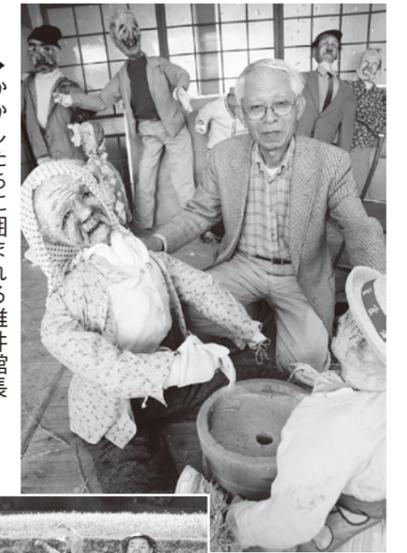
▲駒打ちをする子どもたち

## 宮地岳かかし村 本渡

### 今年も表情豊かな“かかし”の集団が出現!

4月1日から約1カ月間、宮地岳町の国道266号沿いにある豆木場バス停付近に、かかしの集団「宮地岳かかし村」がお目見えします。この取り組みは、同町公民館の碓井弘幸館長を中心にして、地元の高齢者や小学生、宮地岳地区振興会などの協力で平成21年から実施しているもの。今回は、「カップと人間のすもう合戦」「いしうすをひく人」などあらたに25体を製作。昨年までに製作した25体とあわせて、50体が一堂に展示されます。

碓井館長は、「もともとお年寄りの楽しみとして始めたものが、地域をあげての取り組みになってきている。ぜひ見に来てほしい」と話していました。



かかしたちに囲まれる碓井館長



▲昨年のようなす



▲牛深ハイヤ踊りを披露する「あかねちゃん」

## 牛深のマスコット「あかねちゃん」の着ぐるみが誕生 牛深

### 牛深ハイヤ祭りにぜひおいで!

このほど、牛深ハイヤ祭り実行委員会では、牛深のマスコット「あかねちゃん」の着ぐるみを製作しました。このマスコットは、平成3年の第20回牛深ハイヤ祭りの開催を記念して一般公募で選ばれたもので、牛深地方で大漁を意味する方言「あかね」にちなんで名付けられました。イワシをモチーフにした女の子で、牛深ハイヤ踊りが得意という設定。4月15~17日に開かれる第40回牛深ハイヤ祭りでは、20歳になりすてきな女性になったあかねちゃんを見ることができます。皆さんぜひご来場ください。

## 下津浦ひな人形展示会 有明

### 子どもたちの健やかな成長を願って

2月15日から3月3日まで、「下津浦ひな人形展示会」が下津浦公民館・迫分館で開かれました。これは下津浦地区振興会が、各家庭に保管されているひな人形を一堂に展示することで、子どもたちの健やかな成長を地区全体で願おうと、初めて実施したものです。会場には、色鮮やかなひな人形や紙粘土製のひな人形など約100体を展示。来場者は、ずらりと並んだひな人形に見入っていました。また、同3日には下津浦いきいきサロンが行われ、参加者は自慢の手料理を持ち寄りひな祭りを祝っていました。



▲ひな人形の前で手料理を味わう参加者

## みんな楽しく♪ピアノの日

### あこがれのグランドピアノを堪能

2月27日、天草市民センターホールで「みんな楽しく♪ピアノの日」と題してピアノの演奏会が開かれ、応募した子どもからおとなまで82人が参加しました。これは市が、同センター内に設置しているグランドピアノを気軽に弾いてもらおうと開催したもの。参加者は、ソロや2人1組の連弾で曲を披露しながら、あこがれのグランドピアノの弾き心地を堪能。「ピアノがきれいで驚いた」「緊張したけど楽しく弾けた」などと話していました。



▲連弾を披露する参加者



▲練習の成果を発表する児童たち

## 演劇アウトリーチ事業in天草・浦和小公開発表会

### 体全体を使って表現したよ！

2月20日、「演劇アウトリーチ事業in天草・浦和小公開発表会」が天草市民センターホールで開催されました。同事業は、演劇を通じたコミュニケーション能力の育成を目的に、市と(財)熊本県立劇場が企画。昨年12月から有明町の浦和小学校4・5年生が取り組み、発表会はその成果を披露しようとしたもの。同会では、演出家の指導を受けた児童たちが創作劇を発表。体全体を使って感情豊かに演じ、会場からは大きな拍手が送られていました。

## 日本の宝島“天草”づくり講演会

### 活力ある島づくりについて学ぶ

2月27日、栖本町の栖本福祉会館で「日本の宝島“天草”づくり講演会」が開かれ、まちづくり協議会の役員など252人が参加しました。これは市が、まちづくりに対する意識の高揚を図ることなどを目的に、毎年開催しているもの。島根県海士町の交流促進課・青山富寿生課長と同町観光協会のサミーラ・グナワラデナ氏が「海士ならではの笑顔の追求」と題して講演。同町におけるまちづくりなどの取り組みが紹介され、参加者は熱心に聞き入っていました。



▲講演を行った青山課長(左)とサミーラ氏(右)



▲スタートする選手たち

## 天草サイクルマラソン

### 天草路を自転車で快走！

天草下島を自転車で一周する「第18回天草サイクルマラソン」が3月6日、新和町の新和町民センターをスタート・ゴールとする135kmと96kmのコースで開かれました。これは、熊本県サイクリング協会が毎年開催しているもの。大会には、県内外はもとより、関東・関西方面の11歳から78歳までのサイクリング愛好家・約400人が出走。この日はあいにくの雨となりましたが、参加者は完走を目指して天草路を快走していました。

## 地域福祉ネットワーク事業推進講演会

倉岳

### 支えあいのまちづくりを目指して

3月13日、市社会福祉協議会・倉岳支所主催で「地域福祉ネットワーク事業推進講演会」が倉岳多目的研修集会施設で開かれ、行政区長や民生委員・児童委員、福祉関係者など約100人が参加しました。同会では、阿蘇市社会福祉協議会・地域福祉専門員の山本由紀子さんが、「ネットワーク活動の進め方」と題して、同市における活動事例などを交えながら講演。参加者は、山本さんの話に耳を傾けながら、地域での見守りの重要性について学んでいました。



▲「身近な範囲でもっときめこまかな見守りネットワーク活動が必要」と話す山本さん



▲この海岸付近に教会があった説明を聞く参加者たち

## 御領地区史跡探訪

五和

### 郷土の歴史や活躍に感嘆！

2月20日、御領まちづくり振興会主催による史跡探訪が行われ、50人が参加しました。これは、御領の歴史や文化を学び、地域を見直そうと昭和46年から実施されているもの。この日は、郷土史家の案内でキリシタン墓碑や神社などを散策したほか、長崎県にある大浦天主堂やグラバー邸などを建築し、日本における西洋建築の先駆者でもあった同地区出身の小山秀之進のゆかりも探訪。参加者たちは、初めて聞く地元の歴史を熱心に聞き入っていました。

## 下田南ウォーキング大会

天草

### みんなで歩き春を感じる！！

3月13日、「下田南ウォーキング大会」が開かれ、地区住民52人が参加しました。これは、下田南地区振興会が、地元を歩きながら住民の親睦を深めようと毎年開催しているもの。この日は、春を思わせる陽気の中、参加者は同地区内を散策する“はりきり(4.2km)”と“ゆったり(3km)”のコースに分かれて出発。自分の体力にあわせて思い通りのペースで歩いたほか、乳母車を押しながら歩く家族の姿も見られるなど、楽しいひとときを過ごしていました。



▲ウォーキングを楽しむ参加者

## 大多尾小学校と新和小学校が合同で遠足

新和

### 和気あいあいの中で遠足を満喫

大多尾小学校と新和小学校が3月1日、合同で新和みどりの村までの遠足を行いました。これは、4月1日に統合する両校が学校間交流として行ったもの。これまでにプールや授業などでも実施しており、今回が4回目になります。この日は、両校の児童たちがいっしょに仲良くお弁当を食べたり、シイタケの駒打ちをしたりして、終始和気あいあいの中で遠足を満喫。参加した児童は、「4月からの学校生活が楽しみです」と話していました。



▲仲良くおいしそうにお弁当を食べる児童たち

地域の人たちとふれあえる楽しい行事

下浦第一小学校（下浦町）  
5年 土黒麻湖

下浦第一小学校には、ほかの学校にはない行事が二つあります。一つ目は「よかばいマーケット」です。これは、家族や地域の人たちを招いてバザーを行う、PTAの行事です。手作りの商品や料理、リサイクル品などを、私たちが接客のお手伝いをして販売しています。もう一つは、ひとり暮らしのお年寄りの人たちに、学校で育てた花の苗をプレゼントして回る「花の苗プレゼント」です。毎年、皆さんの笑顔を見るのが楽しみです。どちらの行事も、地域の皆さんとたくさんふれあうことができる楽しい行事です。私たちの学校は、人数は少ないですが、みんな仲が良く団結力ではどこにも負けない自慢の学校です。



「よかばいマーケット」のようす

ぼくのわたしの学校部活自慢



ごみ拾いをする児童

牛深のきれいな海をもっときれいに

天附小学校（牛深町）  
6年 砂月毬衣

天附小学校は、校舎からきれいな海と牛深ハイヤ大橋が、そして、反対側には山が見える景色のいい所です。春の遠足では、牛深ハイヤ大橋を渡って牛深公園まで行きます。

校区には砂月海岸があり、毎年夏には、地元の人のお話を聞いたりして海について学習をし、海をきれいにしようと全員でゴミ拾いもします。去年は、ウミガメが砂浜にタマゴを産んだので、そのかえった跡をみんなで見にいきました。今年は来なかったの、来年は来てくれるようにもっときれいな海にしたいです。人数は少ないけれど、近くの小学校や地域の人との交流も多いので、この学校でよかったと思うし、この学校が大好きです。

地域づくり  
コーナー

人が動く  
地域が動く  
天草が動く

子どもたちの笑顔あふれる  
地域づくりを目標として

島子地区振興会（会長 岩田弘光）

島子地区振興会は、「誰もが住みたくなる島子づくり」をテーマに、さまざまな事業に取り組んでいます。中でも、島子小学校の子どもたちのために、島子で育った思い出づくりや地域の皆さんとの交流を、重点的に実施しています。

まず、夏休み期間中は、島子公民館を開放して、自主学習・体験事業、映画鑑賞会、を週2回開催。秋に行われる「十五夜事業」では、子どもたちが長寿会の手ほどきで綱を

今年8月には、4年生以上の児童を対象にした、御所浦民泊体験事業を初めて実施。民家に宿泊しながら魚釣りや化石採集などの体験を通して、子どもたちはひと回り成長したように感じています。今後も、島子で育った子どもたちの笑顔がいっぱいで、ふるさとに感謝できる地域を目指して活動していきます。

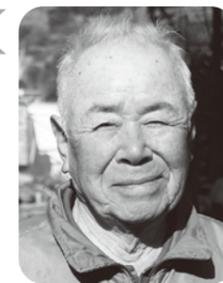


▲「十五夜事業」で綱のない方を教わる子どもたち

宝島の健康

よさげさん

森安明さん  
(御所浦町御所浦・88歳)



◆毎日の楽しみは？

健康と趣味をかねた散歩です。6年間毎日欠かさず10km以上歩いています。また、清掃などのボランティア活動や、高齢者のいきいきサロンに参加することも、楽しみのひとつですね。

◆健康の秘けつは？

体を動かすことだと思っています。歩くようになってからは、高血圧も改善され体重も適正になりました。また、御所浦でとれたおいしい魚を食べることも健康にいいのかもしれない。



山田さとみさん（栖本町馬場・20歳）

地元の高校を卒業後、看護師を目指して本渡看護専門学校に入学しました。4月からはいよいよ3年生。より専門的な実習が待っています。思いやりのある優しい看護師になることはもちろんのこと、地域医療に貢献できるように、しっかりと知識を身につけたいと思います。

心豊かで“げんき、なかよし、よいこ”

有明幼稚園（五和町）

有明幼稚園（長野章子園長・全園児45人）は、「げんき、なかよし、よいこ」を園訓に、子どもたちの健やかな成長を目指しています。本園では、子どもたちを少しでも多くの絵本に出会わせたいという思いから、毎週月曜日を“絵本の日”とし、読み聞かせを行っています。毎回どんな絵本が飛び出するか、子どもたちの楽しみの一つになっています。また、絵本を通して親子のふれあいを深めてもらうための“親子読み聞かせ会”も、お母さんたちの協力を得て20年以上続いています。この取り組みは、各家庭の読み聞かせにもつながっているようです。

これからも、心豊かな子どもたちの成長を見守っていききたいと思います。



絵本の話に聞き入る子どもたち

このゆびとくまれ



「火の用心」を呼びかける園児たち

豊かな感性を持った子どもの育成を目指して

東町保育園（東町）

東町保育園（福山進一郎園長・全園児55人）では、豊かな感性を持った子どもの育成を目指しています。その取り組みの一つが日常の保育で使う遊具、誕生会でのプレゼント、おやつなど“手作り”にこだわった保育です。子どもたちは、職員のぬくもりを感じながら日々成長しています。

また、年長児を中心に幼年消防クラブを結成し、毎年全国火災予防運動期間に合わせ、園の周辺を回り地域の人たちに「火の用心」を呼びかけています。昨年11月の第5回天草地域幼年婦人防火大会において、優良防火クラブ特別表彰を受けました。これからも、防火の意識を高め、家庭へ、地域へと広げていきたいと思っています。



「東北地方太平洋沖地震」の復興へ  
心をつにして  
天草市長 安田 公寛

市長  
随筆

3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」により、被災されました関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

三陸沖を震源とする国内観測史上最大のマグニチュード9.0の巨大地震は、東北地方から関東地方まで広範囲の地域に強い揺れによる被害を与えると同時に、太平洋沿岸を中心に10メートルを超える大規模な津波を発生させ、死者・行方不明者が2万人を超える未曾有の大災害となりました。テレビでは、各地で高い津波が防波堤や堤防を越え、多くの人々や家屋、自動車などを一瞬にして

飲み込んでいくようすを連日伝えました。

これまでに、想像しなかった大自然の脅威が現実になり、被災者の皆様は想像を絶する恐怖を体験されたばかりか、寒さや空腹、さらに福島原子力発電所の周辺では、放射能漏れの恐怖に耐えながら避難所生活を送っておられます。

私たちは、被災者の皆さんと苦しみを共有しながら、心をつにして日本の危機を乗り越え、復興を目ざしていかなければなりません。市民の皆様にも義援金など、身近にできる被災者の皆様へのご支援とご協力をお願いいたします。

きら  
煌めく人  
たち

届け続ける“読み聞かせ”

竹内 美由紀 さん (河浦町新合・51歳)



河浦町新合に住む竹内美由紀さんは、新合小学校の児童に絵本の読み聞かせなどを行う「新合小読み聞かせボランティア」の代表を務めている。平成17年に発足し、誰でも親しみやすいようにピノキオと名付けられたこの団体は、このほど読書環境の醸成に貢献したことが高く評価され、県から平成22年度優良読書グループとして、表彰を受けた。もともと、学校からの要望を受け当時保護者だった竹内さんら3人で活動を開始。「自分の子どもの読書離れが気に

なっていて、親としてどうにかしたいと思ったから」と、竹内さんはこの取り組みを始めたきっかけを振り返る。その後、会員数も徐々に増え、現在は男性を含む7人で週に3回、朝の自習時間を利用して低・高学年に分けて読み聞かせを行っている。

一方、同校で毎年開かれる学習発表会「新合小フェスタ」では、動く紙芝居であるパネルシアターを毎回実施。保護者や学校の協力を得て、手作りにこだわって行われるこの催しは、演出方法など完成度の高さが評判を呼び、地元の高齢者や保育園のほか、市のイベントでも披露され好評を博している。

「これまで続けることができたのは、会員をはじめ保護者の皆さんや先生方の協力があつたからこそ。そして何より、私自身、子どもたちに会えるのを毎回楽しみにしているから」と笑顔を見せる竹内さん。

今日も児童たちに向けて、優しく、そして愛情に満ちあふれた声を届けている。

ハッピー HAPPY BIRTHDAY パースデー  
今日で1歳になります

 <b>鬼塚 麗ちゃん</b> 楠浦町 父・俊行さん 母・恵子さん いっち一姉、こうこう兄大好き♡いっぱい遊んでね!!	 <b>稲田 錬くん</b> 倉岳町棚底 父・貴士さん 母・知美さん 力強い錬くん、けっこう、けっこう。元気が何よりです。	 <b>川口 拓斗くん</b> 中村町 父・拓也さん 母・真由美さん おでこがぼくのチャームポイントです!!
 <b>鳥羽瀬 陸空くん</b> 亀場町亀川 父・幸次さん 母・望美さん じいじ・ばあば大好き♡みんなこれからもいっぱい遊んでネ!!	 <b>西崎 麻妃ちゃん</b> 五和町二江 父・大輔さん 母・祐子さん お友だちをたくさん作っていっぱい遊んでね♡	 <b>瀧本 望くん</b> 船之尾町 父・一政さん 母・恭子さん 大好きな、あらし兄ちゃん♡これからもいっぱい遊ぼうね!
 <b>岩崎 拓斗くん</b> 五和町城河原 父・昭仁さん 母・直美さん じいじ、ばあば、兄ちゃん、姉ちゃんいつも遊んでくれてありがとう。	 <b>尾上 勝悠くん</b> 亀場町亀川 父・隆志さん 母・美佳さん かほお姉ちゃん大好き。元気にいっぱい遊んで大きくなってね。	 <b>柿塚 琉華ちゃん</b> 太田町 父・大介さん 母・裕子さん お兄ちゃんよろしくね♡

**5月で満1歳になるお子さんを募集します!**  
 ●応募期限=4月11日⑩まで(必着)。  
 ●応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

読者のつぶやき

今年は花粉が例年の5倍以上飛散すること。7年前から「花粉症」を患っていますが、今年は早くから薬を飲んでいるので、症状はあまり出ていません。ただ、マスクは必需品で外出時は手放せず、耳にタコが出るくらいはめています。  
 ペンネーム：タコマスク

子どもといっしょに公園へ行ったときのこと。梅の花などを見つけては「春みつけた」と喜んでいる娘の姿を見て、あたたかい気持ちになりました。何気ない日常こそが幸せだと感じ、毎日を大切に過ごしていきたいと、あらためて感じています。  
 ペンネーム：春よこい

皆さんからのお便りを募集しています!

身近であったできごとや、季節に思いをはせることなど、100字程度(応募者多数の場合は選考)。  
 ※表記などを統一するため、趣旨を変えず文章を直すこともあります。

▶応募期限=4月11日⑩まで(必着)。  
 ▶応募方法=寄稿文をまとめたものに、ペンネームと住所、氏名、電話番号を記入し、天草市役所秘書課へ提出してください。

[郵送・持参]  
 〒863-8631 市内東浜町8-1(郵送の場合は住所記載不要)  
 天草市役所・秘書課広報聴係  
 [電子メール]  
 hisiyoka@city.amakusa.lg.jp



## ～のっぺい汁～

### 材 料 (約6人分)

とりのモモ肉…………… 100g  
 里芋…………… 7個  
 材料①  
 にんじん…………… 1/2本  
 こんにゃく…………… 1枚  
 干しいたけ…………… 5枚  
 たけのこ (水煮)… 1/4個  
 ごぼう…………… 1/3本  
 えのき…………… 1/2房  
 ねぎ…………… 適量  
 かつおだし…………… 2,000cc  
 酒…………… 適量  
 みりん…………… 50cc  
 薄口しょうゆ…………… 小さじ2  
 濃口しょうゆ…………… 小さじ3  
 かたくり粉…………… 適量

### 作 り 方

- ①里芋は皮をむき、六方切りにして塩でもみ、ぬめりを取る。材料①を拍子切り、ごぼうは乱切りにする。えのきは根の部分を取り、2つに切る。切った材料は、水にさらしておく。  
※干しいたけの戻し汁100ccを取っておく。
- ②とりのモモ肉を一口大に切り、湯がく。
- ③鍋で①を30秒ほど湯がく。その後、流水にさらし、水気を切っておく。
- ④鍋にかつおだし、干しいたけの戻し汁を入れ、酒、みりん、薄口・濃口しょうゆ、②と③を加え、煮込む。
- ⑤かたくり粉を加え、とろみをつけ、ねぎを散らす。

のっぺい汁は、栖本で昔から親しまれている家庭料理で、とり肉やにんじん、ごぼう、里芋などの季節の具材を鍋で煮込んだ、しょうゆ仕立ての汁。貝だくさんで、とろみが付いているのが特徴です。

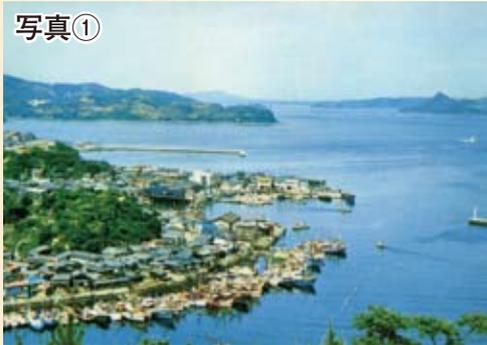
皆さん、ぜひ一度ご賞味ください。

提供：市食生活改善推進員協議会

※「地域に根ざす郷土料理」は今号で終了します。

## ～天草の海の玄関口「牛深」～

写真①



写真②



加世浦地区の高台から望む牛深の風景です。写真①は昭和30年代に撮影された1枚。イワシやサバ、アジなどをとる“まき網船”が数多く停泊しているのがわかります。一方、写真②は現在のようす。港の整備も進み、平成9年には全長883mの牛深ハイヤ大橋も開通。鹿児島からの海の玄関口となっています。

【問い合わせ先】天草アーカイブズ(五和支所内) ☎255515

天草アーカイブズ収蔵  
**思い出写真館**



編集後記

3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」で亡くなられた人のご冥福と、被災者の皆様に對しまして心からお見舞い申し上げます。被災地や被災者の皆様の状況を考えると、普通に生活できるありがたさを痛感しながら、今私ができることをしっかりとやらなければと思います。【凡

東日本を襲った大地震と津波。一瞬ですべてがなくなる恐怖、日がたつにつれて明らかになっていく惨劇に、言葉もありません。ただ、そこには被災者の皆さんが互いに助け合い、強く生きようとする姿が、微力ではありますが、自分にも何ができるか考え、行動したいと思えます。【海

「地域福祉」特集で紹介した「支えあい、助けあい」の心。東北地方太平洋沖地震の発生を受けて広がる、国内外からの支援の輪は、まさにそのさいたるものであると感じています。被害にあわれた皆様には、心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を願っています。【素